

「おいしが うれしがキャンペーン」および「環境こだわり農産物」についてのアンケート結果

調査時期 : 平成23年9月

対象者 : 県政モニター 352人

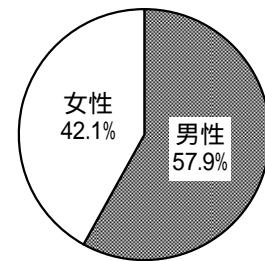
回答数 : 290人 (回収率 82.4%)

担当課 : 食のブランド推進課

調査目的 : 県では、地域で生産されたものを地域で消費する“地産地消”を推進する「おいしが うれしがキャンペーン」に取り組んでいます。また、農薬・化学肥料の使用量を減らし、琵琶湖などの周辺環境に配慮した栽培を实践する「環境こだわり農業」の推進にも取り組んでいるところです。
県民のみなさまの、地産地消や環境こだわり農業に対する意識等を把握しこれらの取組を広げていくことを目的としてアンケート調査を実施しました。

あなたの性別と年齢を教えてください。

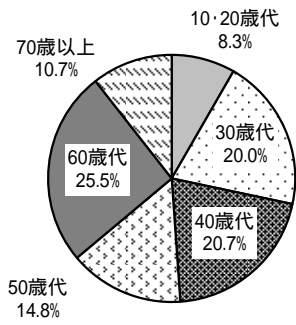
	男性	女性	計	割合
10・20歳代	6	18	24	8.3%
30歳代	18	40	58	20.0%
40歳代	27	33	60	20.7%
50歳代	26	17	43	14.8%
60歳代	61	13	74	25.5%
70歳以上	30	1	31	10.7%
計	168	122	290	100.0%
割合	57.9%	42.1%	100.0%	



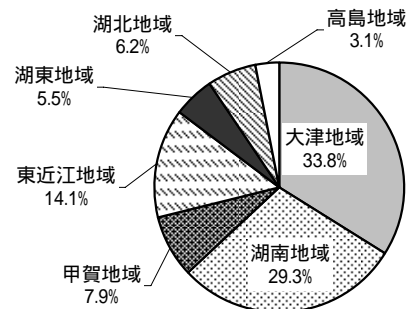
【性別】

あなたのお住まいの地域を教えてください。

	男性	女性	計	割合
大津地域	60	38	98	33.8%
湖南地域	46	39	85	29.3%
甲賀地域	12	11	23	7.9%
東近江地域	22	19	41	14.1%
湖東地域	10	6	16	5.5%
湖北地域	11	7	18	6.2%
高島地域	7	2	9	3.1%
計	168	122	290	100.0%



【年齢別】



【地域別】

「おいしが うれしが」キャンペーン¹について

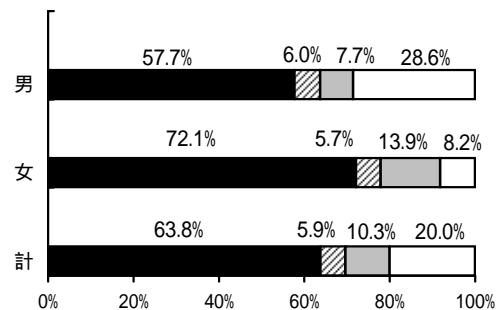
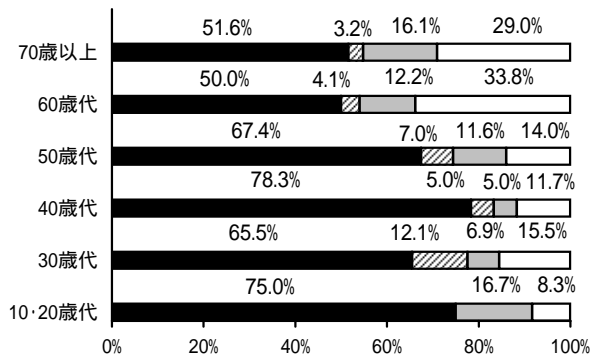
1 県内の飲食店や小売店等が滋賀県産の農水産物を積極的に県民の皆さまに提供するなどの地産地消の取組

【問1】あなたは「おいしが うれしが」キャンペーンのことを知っていますか。

【回答】

- 知っている
- ポスターやロゴマークは見たことがあるが、地産地消の取組であることは知らない
- 「おいしが うれしが」という言葉は聞いたことがあるが、地産地消の取組であることは知らない
- 知らない

	年 代 別						男女別		計	割合
	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	男	女		
1.	18	38	47	29	37	16	97	88	185	63.8%
2.	0	7	3	3	3	1	10	7	17	5.9%
3.	4	4	3	5	9	5	13	17	30	10.3%
4.	2	9	7	6	25	9	48	10	58	20.0%
計	24	58	60	43	74	31	168	122	290	100.0%



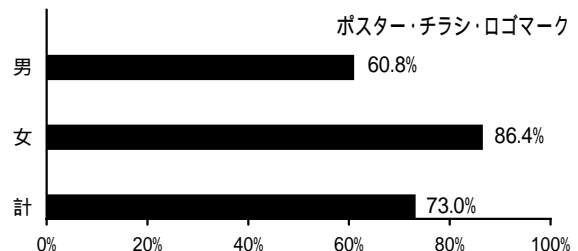
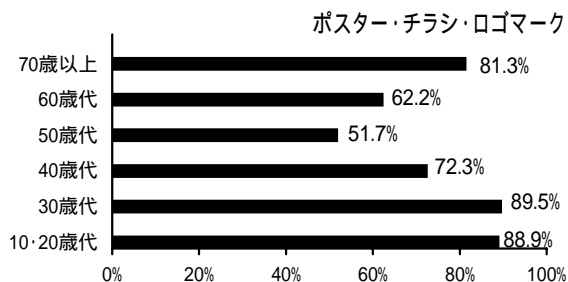
■ 知っている ▨ ポスターやロゴは知っている □ 言葉は聞いたことがある □ 知らない

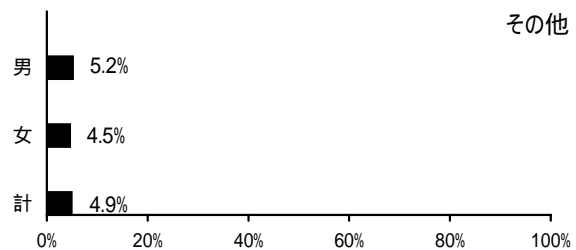
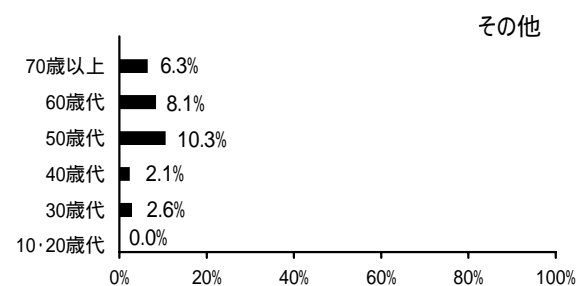
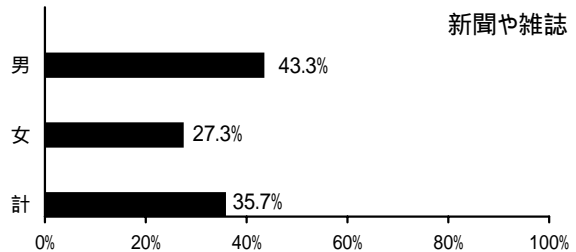
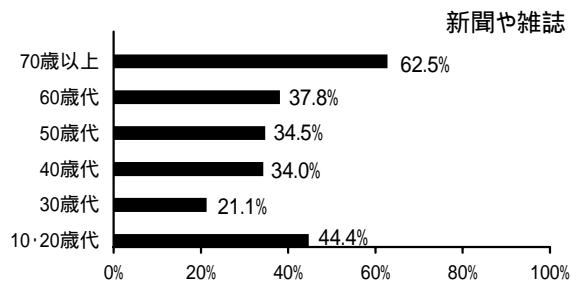
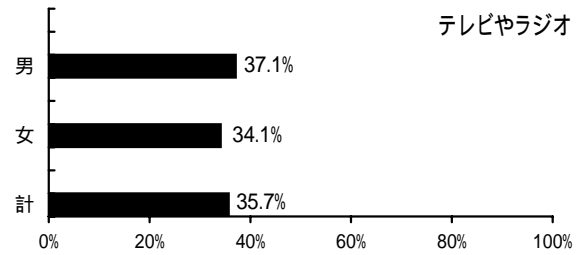
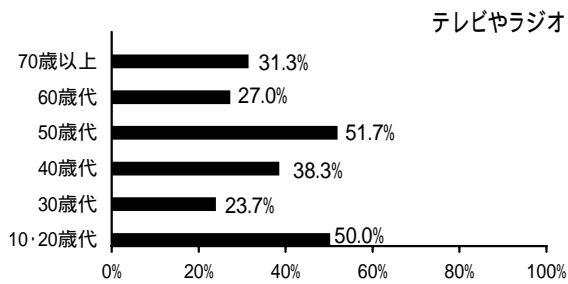
【問2】問1で「1. 知っている」と回答された方にお聞きします。
「おいしが うれしが」キャンペーンの取組をどこで見ましたか。（複数回答可）

【回答】

- お店等でのポスターやチラシ、商品に貼ってあるロゴマーク
- テレビやラジオなどのCMや番組
- 新聞や雑誌などの記事や広告
- その他

	年 代 別						男女別		計	割合
	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	男	女		
1.	16	34	34	15	23	13	59	76	135	73.0%
2.	9	9	18	15	10	5	36	30	66	35.7%
3.	8	8	16	10	14	10	42	24	66	35.7%
4.	0	1	1	3	3	1	5	4	9	4.9%
計	33	52	69	43	50	29	142	134	276	

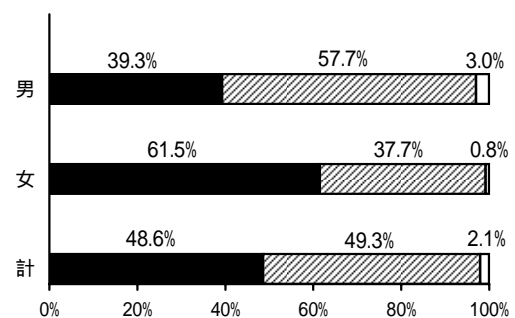
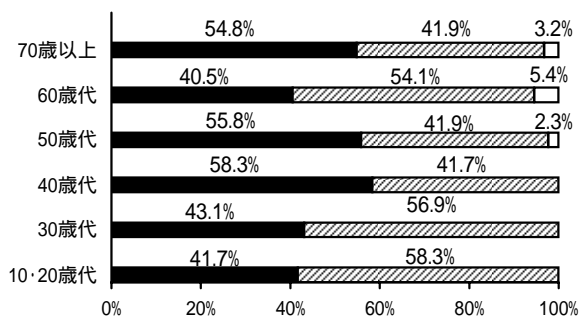




* 分母は、問1で「1.知っている」と回答した人数

【問3】	滋賀県産の農水産物やそれを使った料理や商品を選んで食べたり、購入されたりしていますか。
【回答】	1. できるだけ滋賀県産の農水産物に関係のある商品を選んでいる 2. 特に滋賀県産にこだわっていない 3. 滋賀県産は選ばない 4. その他

	年代別						男女別		計	割合
	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	男	女		
1.	10	25	35	24	30	17	66	75	141	48.6%
2.	14	33	25	18	40	13	97	46	143	49.3%
3.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
4.	0	0	0	1	4	1	5	1	6	2.1%
計	24	58	60	43	74	31	168	122	290	100.0%



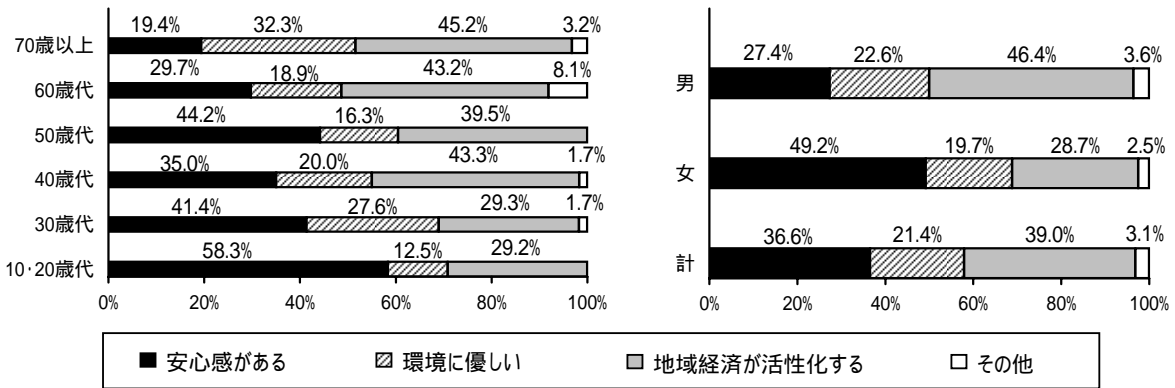
■ 滋賀県産を選ぶ ▨ 滋賀県産にはこだわらない □ 滋賀県産は選ばない □ その他

* いずれの年代、性別においても「3」の回答は、なし

【問4】 「地産地消」の取組について、あなたが最もよいと思う点はどれですか。

- 【回答】 1. 近くで生産されているので、安心感がある
 2. 生産地と消費地が近く、搬送距離が短いので、環境に優しい
 3. 生産から消費までの活動が地域で完結するので、地域経済が活性化する
 4. その他

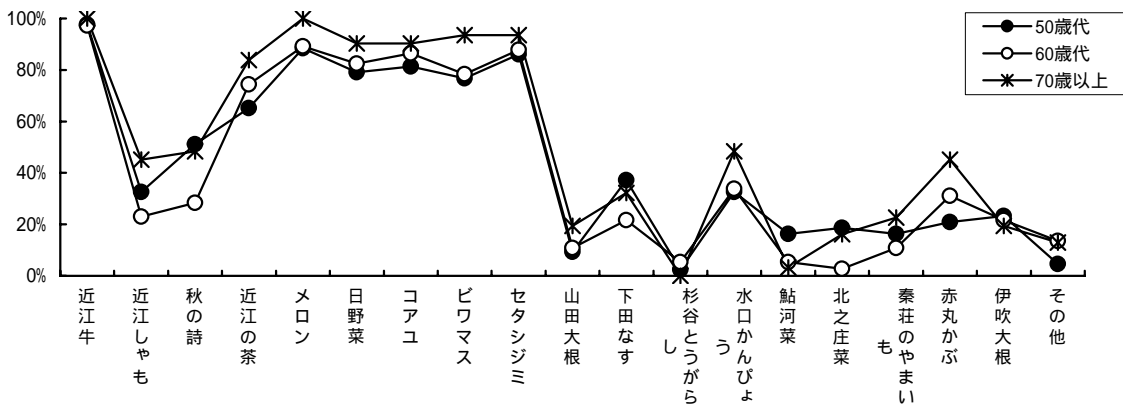
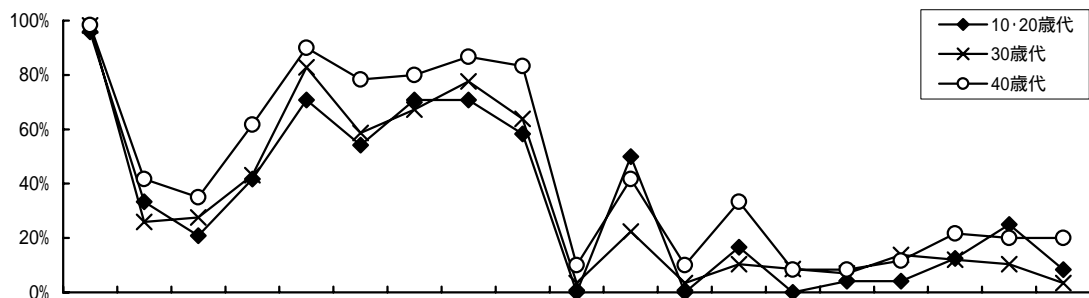
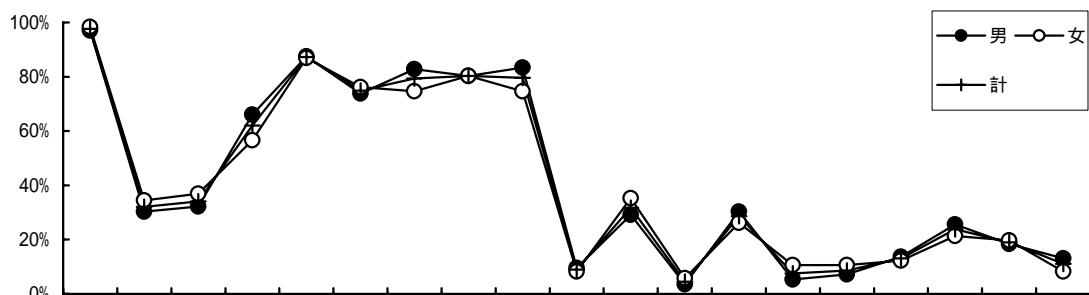
	年 代 別						男女別		計	割合
	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	男	女		
1.	14	24	21	19	22	6	46	60	106	36.6%
2.	3	16	12	7	14	10	38	24	62	21.4%
3.	7	17	26	17	32	14	78	35	113	39.0%
4.	0	1	1	0	6	1	6	3	9	3.1%
計	24	58	60	43	74	31	168	122	290	100.0%



【問5】 滋賀県には、県外でも有名な農産物もあれば、県内各地域で古くから親しまれている伝統野菜や琵琶湖でしか捕れない固有魚種もあります。あなたの知っている滋賀県の農水産物すべてにチェックしてください。

- 【回答】 1. 近江牛（滋賀で育てられる黒毛和種）
 2. 近江しゃも（滋賀で育成された肉用鶏）
 3. 秋の詩（滋賀で育成された近江米の品種）
 4. 近江の茶（甲賀市など）
 5. メロン（守山市、草津市、東近江市など）
 6. 日野菜（日野町）
 7. コアユ（琵琶湖）
 8. ピワマス（琵琶湖固有種）
 9. セタシジミ（琵琶湖固有種）
 10. 山田大根（山田ねずみ大根）（草津市）
 11. 下田なす（甲賀市）
 12. 杉谷とうがらし（甲賀市）
 13. 水口かんぴょう（甲賀市）
 14. 鮎河菜（甲賀市）
 15. 北之庄菜（近江八幡市）
 16. 秦荘のやまいも（愛荘町）
 17. 赤丸かぶ（米原市）
 18. 伊吹大根（米原市）
 19. その他

	年 代 別						男女別		計	割合
	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	男	女		
1.	23	57	59	42	72	31	163	120	283	97.6%
2.	8	15	25	14	17	14	51	42	93	32.1%
3.	5	16	21	22	21	15	54	45	99	34.1%
4.	10	25	37	28	55	26	111	69	180	62.1%
5.	17	48	54	38	66	31	147	106	253	87.2%
6.	13	34	47	34	61	28	124	93	217	74.8%
7.	17	39	48	35	64	28	139	91	230	79.3%
8.	17	45	52	33	58	29	135	98	233	80.3%
9.	14	37	50	37	65	29	140	91	231	79.7%
10.	0	2	6	4	8	6	16	10	26	9.0%
11.	12	13	25	16	16	10	49	43	92	31.7%
12.	0	2	6	1	4	0	6	7	13	4.5%
13.	4	6	20	14	25	15	51	32	83	28.6%
14.	0	5	5	7	4	1	9	13	22	7.6%
15.	1	4	5	8	2	5	12	13	25	8.6%
16.	1	8	7	7	8	7	23	15	38	13.1%
17.	3	7	13	9	23	14	43	26	69	23.8%
18.	6	6	12	10	16	6	31	24	55	19.0%
19.	2	2	12	2	10	4	22	10	32	11.0%
計	153	371	504	361	595	299	1,326	948	2,274	

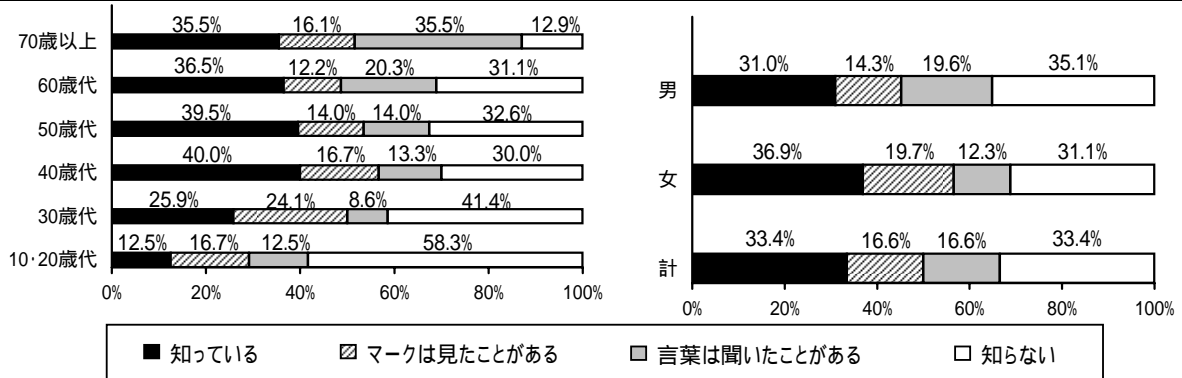


「環境こだわり農産物」²について

2 農薬と化学肥料を通常の5割以下に減らし、琵琶湖をはじめとした環境に配慮した技術で生産され、認証マークをつけて販売されています

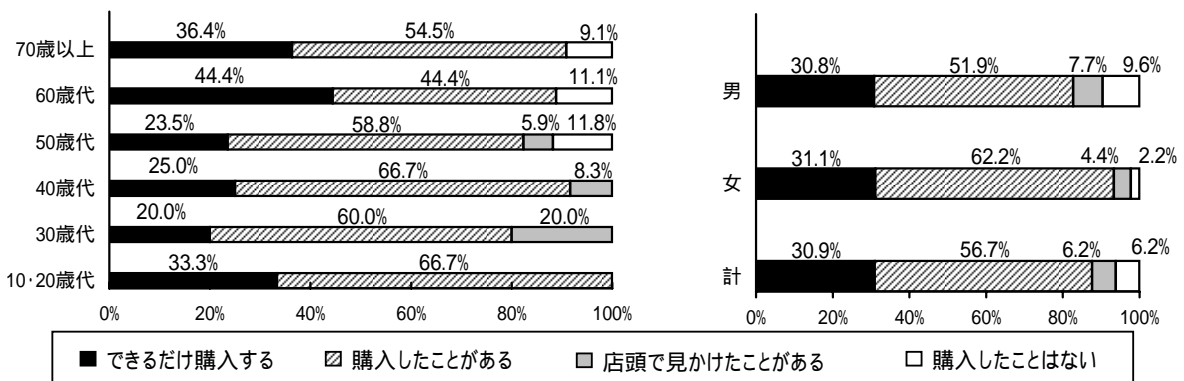
【問6】 あなたは「環境こだわり農産物」を知っていますか。
 【回答】 1. 知っている
 2. 認証マークは見たことがあるが、内容については知らない
 3. 「環境こだわり農産物」という言葉は聞いたことがあるが、内容については知らない
 4. 知らない

	年 代 別						男女別		計	割合
	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	男	女		
1.	3	15	24	17	27	11	52	45	97	33.4%
2.	4	14	10	6	9	5	24	24	48	16.6%
3.	3	5	8	6	15	11	33	15	48	16.6%
4.	14	24	18	14	23	4	59	38	97	33.4%
計	24	58	60	43	74	31	168	122	290	100.0%



【問7】 問6で「1. 知っている」と回答された方にお聞きします。
 あなたは「環境こだわり農産物」を購入されたことがありますか。
 【回答】 1. 商品があれば、できるだけ購入するようにしている
 2. 今までに購入したことがある
 3. 購入したことはないが、店頭で見かけたことがある
 4. 購入したことはないが、名前だけは知っている

	年 代 別						男女別		計	割合
	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	男	女		
1.	1	3	6	4	12	4	16	14	30	30.9%
2.	2	9	16	10	12	6	27	28	55	56.7%
3.	0	3	2	1	0	0	4	2	6	6.2%
4.	0	0	0	2	3	1	5	1	6	6.2%
計	3	15	24	17	27	11	52	45	97	

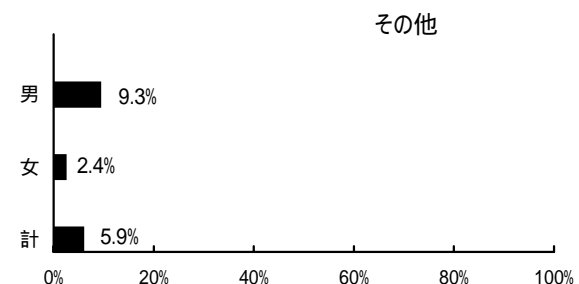
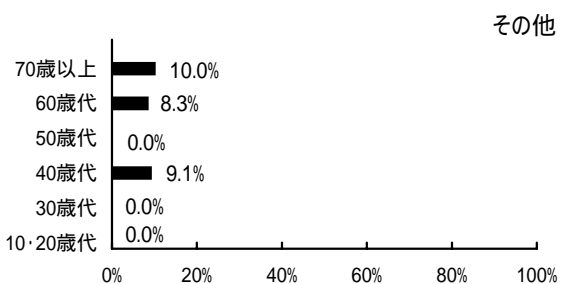
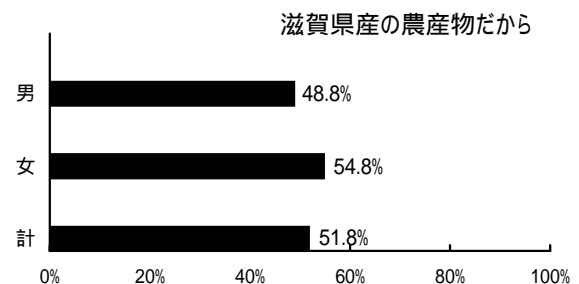
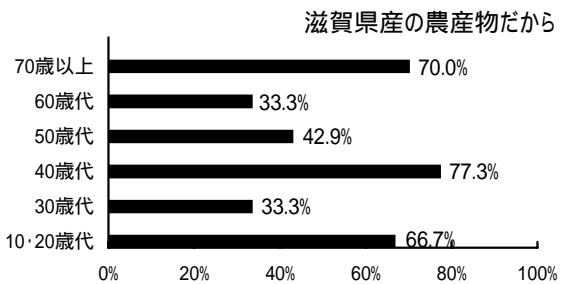
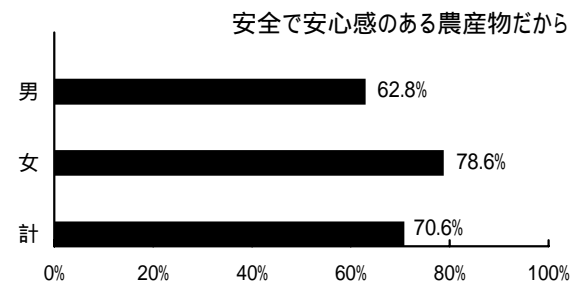
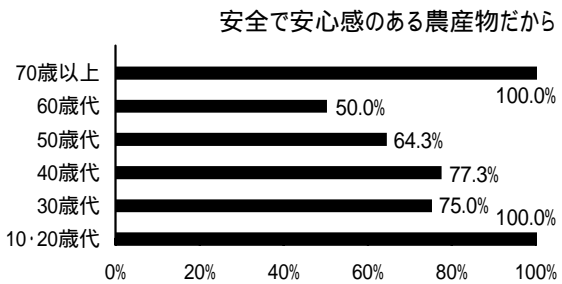
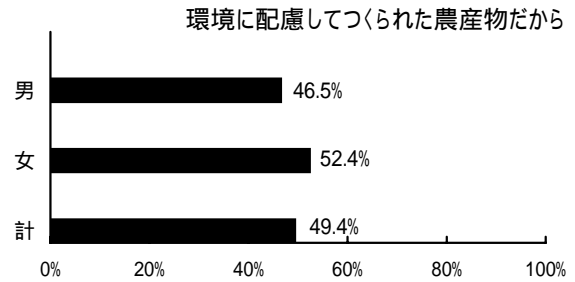
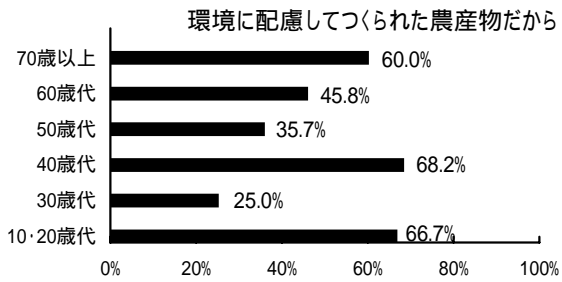


*分母は、問6で「1. 知っている」と回答した人数

【問8】 問7で「1」～「2」に回答された方にお聞きします。
あなたが「環境こだわり農産物」を購入する理由は何ですか。（複数回答可）

- 【回答】 1. 環境に配慮してつくられた農産物だから
2. 安全で安心感のある農産物だから
3. 滋賀県産の農産物だから
4. その他

	年 代 別						男女別		計	割合
	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	男	女		
1.	2	3	15	5	11	6	20	22	42	49.4%
2.	3	9	17	9	12	10	27	33	60	70.6%
3.	2	4	17	6	8	7	21	23	44	51.8%
4.	0	0	2	0	2	1	4	1	5	5.9%
計	7	16	51	20	33	24	72	79	151	

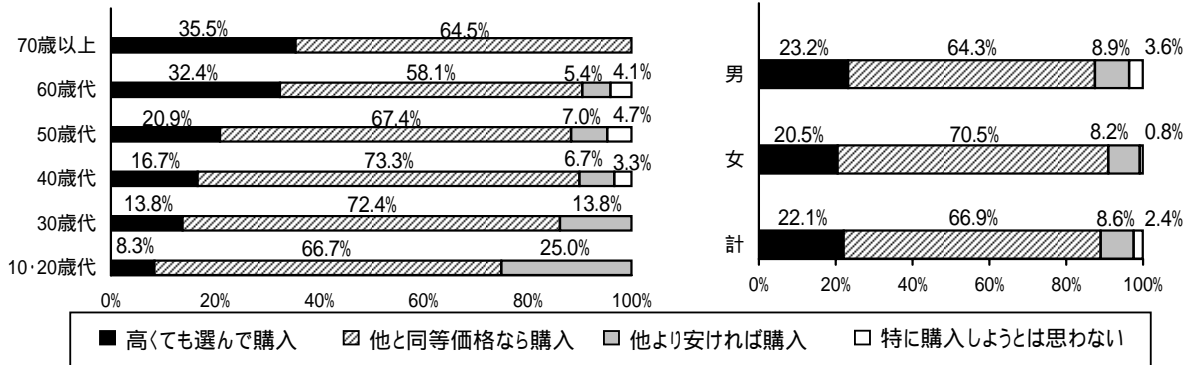


*分母は、問7で「1」または「2」と回答した人数

【問9】 今後あなたは、「環境こだわり農産物」を店頭でみかけた際、購入しようと思いませんか。

- 【回答】
1. 他の農産物より少々高くても選んで購入する
 2. 他の農産物と同等の価格であれば購入する
 3. 他の農産物より安ければ購入する
 4. 特に購入しようとは思わない

	年 代 別						男女別		計	割合
	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	男	女		
1.	2	8	10	9	24	11	39	25	64	22.1%
2.	16	42	44	29	43	20	108	86	194	66.9%
3.	6	8	4	3	4	0	15	10	25	8.6%
4.	0	0	2	2	3	0	6	1	7	2.4%
計	24	58	60	43	74	31	168	122	290	100.0%

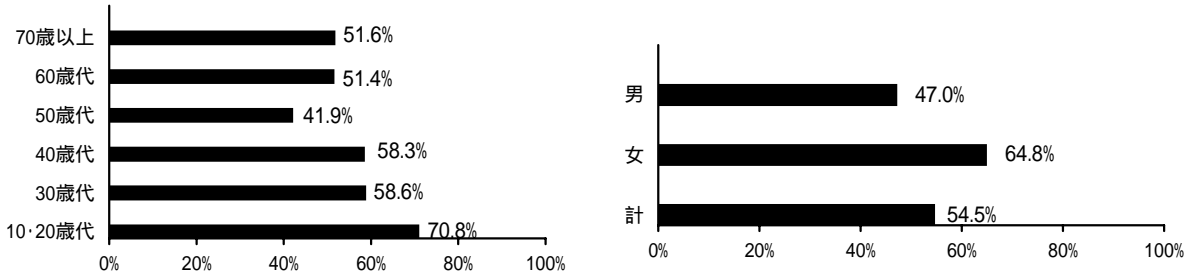


【問10】 「環境こだわり農産物」を選んで購入していただくために、重要なことは何だと思いませんか（複数回答可）

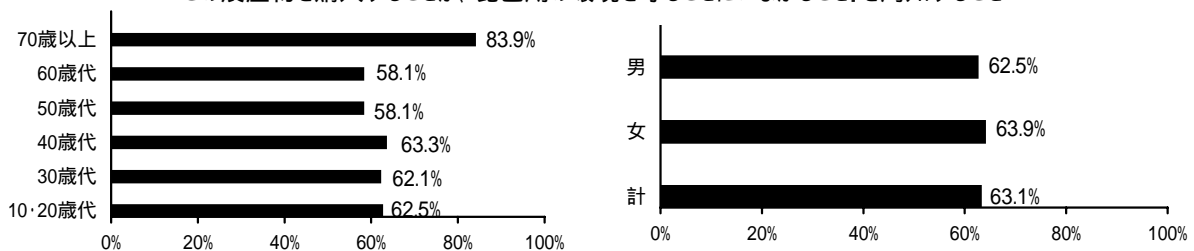
- 【回答】
1. 「化学合成農薬と化成肥料の使用量が通常の半分であること」を周知すること
 2. 「この農産物を購入することが、琵琶湖の環境を守ることにつながること」を周知すること
 3. お店での環境こだわり農産物の取扱量を増やし、目立たせるようにすること
 4. その他

	年 代 別						男女別		計	割合
	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	男	女		
1.	17	34	35	18	38	16	79	79	158	54.5%
2.	15	36	38	25	43	26	105	78	183	63.1%
3.	16	34	38	26	34	16	92	72	164	56.6%
4.	1	2	3	2	13	4	21	4	25	8.6%
計	49	106	114	71	128	62	297	233	530	

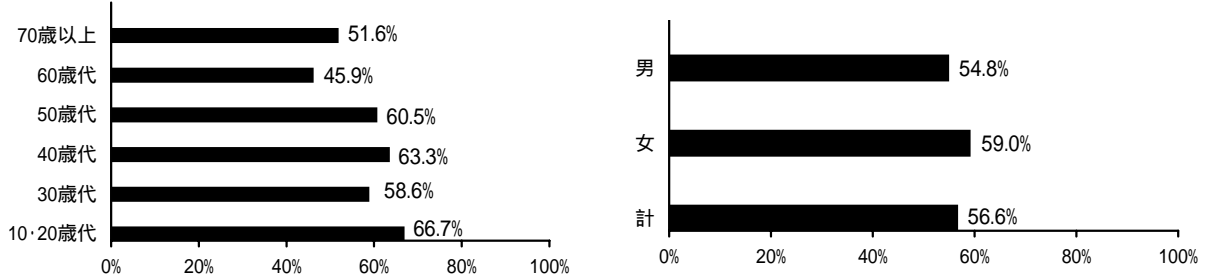
「化学合成農薬と化成肥料の使用量が通常の半分であること」を周知すること



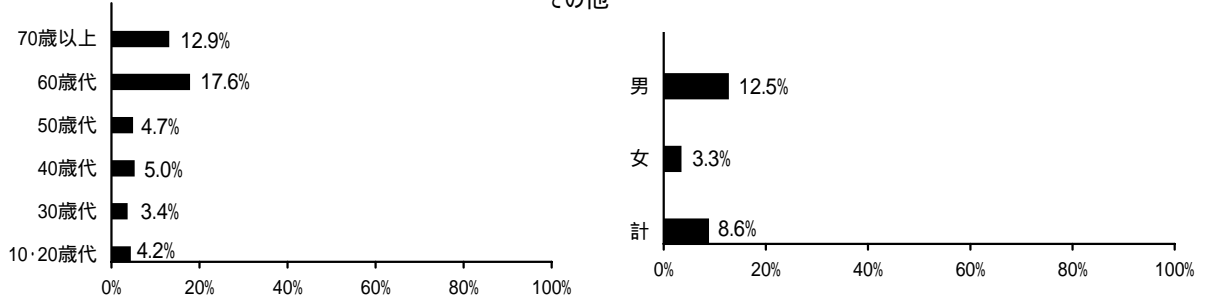
「この農産物を購入することが、琵琶湖の環境を守ることにつながること」を周知すること



お店での環境こだわり農産物の取扱量を増やし、目立たせるようにすること



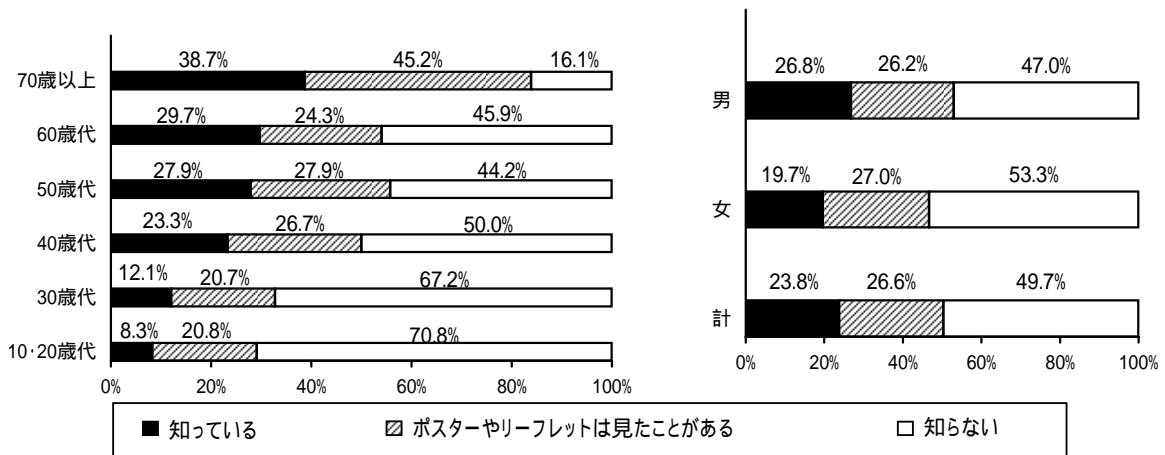
その他



【問11】 今後も琵琶湖の環境を保全していくためには、環境こだわり農業に対する消費者の理解が不可欠です。
滋賀県では「食べることで、びわ湖を守る。環境こだわり農産物」をキャッチフレーズに、消費者の皆様へ環境こだわり農産物を選んで買っていただく運動を推進しています。
あなたは、この運動を知っていますか。

- 【回答】 1. 知っている
2. ポスターやリーフレットは見たことがあるが、内容については知らない
3. 知らない

	年 代 別						男 女 別		計	割合
	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	男	女		
1.	2	7	14	12	22	12	45	24	69	23.8%
2.	5	12	16	12	18	14	44	33	77	26.6%
3.	17	39	30	19	34	5	79	65	144	49.7%
計	24	58	60	43	74	31	168	122	290	100.0%



【問12】 その他、「おいしが うれしが」キャンペーン、環境こだわり農業についてご意見がありましたらお聞かせください。

「おいしが うれしが」について

- * 県内各地で食のイベントが行われているようですが、大きなイベントは、大津市内で行われることが多いように思います。他の市でも同規模のイベントをやってほしいです。
- * このアンケートに答えていたら滋賀県産の農産物を選びたいと思うようになった。もっと広報をするとよいとおもう。
- * 「おいしが うれしが」のキャンペーンを平和堂等、スーパーでやってもらえたら良く知る事が出来ると思います。
- * 子供から学校で習ったことを私が教えられることも多いので、小さいときから地産地消のことを学びまたそのことで家族も周知できるのも良い方法だと思う。
- * おいしがうれしがキャンペーンの一環として、コンビニでお弁当やパンをよく見かけます。手軽に滋賀の野菜等を使った加工食品を買えるのは魅力的だと思います。これからも、様々なコラボ商品を作ってほしいです。

「環境こだわり農産物」について

- * 環境こだわり農産物をもっとスーパー等で沢山、安く提供できるようにしてほしい。
- * 学校給食はもちろんのこと、病院の入院患者用給食、会社の社員食堂、高速道路のSAなどで提供するなど、たくさんの方が消費するような取り組みを期待します。
- * 今は価格破壊でスーパーに行けば安いものが手に入るのでどうしてもそちらを手にとってしまうのが現状。もう少し値段が安くなれば買いやすいのだが・・・
- * 商品を増やし価格も求めやすいものにしてもらえると、県民も購入しやすくなると思う。
- * 「環境こだわり農業」の取り組みについては初めて知りました。琵琶湖をかかえる滋賀県にとって農薬の使用を控えることは大変重要なことだと思います。その必要性についてもっと強くアピールして頂きたいと思います。
- * 値段が同等で身体にも環境にもいいものを作って、強力にアピールしてくればきっと買うと思います。
- * 環境こだわり農産物を、スーパーなどでもいつでも購入できるといいのになと感じます。

共通

- * 「おいしが うれしが」や環境こだわり農業の周知がいま一步です。消費者にとってのメリットを紹介して、県内にひろめるべきと思う。
- * 県外向けにもプロモーションしてブランド力を高める必要があると思います。
- * 地元の商品を買いたいのが、値段が高い。今年は野菜が台風の影響で高いのも影響していると思いますが・・・。
- * どちらも、もっと県民の、めにつくような努力が必要だと思います。
- * 更にたくさんの方に知ってもらえるようにいろんなイベントなどで紹介してもらってはどうかと思います。
- * 「おいしが うれしが」はいまひとつPR不足に思えます。先の宮崎県のようにもっと観光部門も総動員して周知してほしいと思います。
- * PRが何か不足しているように思えてならない、書物より、テレビCM効果が大きいのではないのでしょうか？